

皆さん、こんにちは。

伊豆の国市3月定例記者会見にご参集いただき、ありがとうございます。

3月21日まで再延長されていた「まん延防止等重点措置」ですが、さらなる延長はせず、解除される見込みとなりました。ワクチン接種率の向上などにより、静岡県内の感染者数や病床使用率は、ゆるやかながら減少しつつあり、川勝知事も延長は不要と判断したことです。全国的にみても、いわゆる「第6波」の流行は収束に向かっているように思われます。

とはいって、伊豆の国市内の感染者数は一進一退を繰り返しており、明らかな減少傾向には至っていない状態です。「まん延防止等重点措置」が解除されても、市民の皆様には室内での換気の徹底、手指消毒や不織布マスクの着用など、職場や家庭内での日常的な感染予防を徹底していただくよう、お願いしていきます。3回目のワクチン接種を着実に進めしていくことで、少しでも市内の感染状況が改善するよう、努めてまいります。

さて、去る3月8日、鋸山反射炉が国の史跡指定100年という節目を迎えました。世界遺産でもある鋸山反射炉は、伊豆の国市のシンボルであり、国民共有の宝であります。これまで反射炉の保存に尽力してこられた先人たちに敬意を表しますとともに、未来へと確実に受け継いでいくよう、適切に管理・公開していく所存です。

伊豆の国大河ドラマ館の入場者数は好調に推移しており、まさに本日、3万人を突破します。まん延防止等重点措置継続中ではありますが、目が離せない展開となっているドラマの勢いを追い風に、さらに多くのお客様をお迎えできることを願っています。

大河ドラマの関連で申し上げますと、3月26日には伊豆の国大使・大塚良重さんによる朗読劇「八重姫哀歌」が予定されています。また4月10日には、市内中條にある眞珠院で、八重姫供養祭が行われます。ドラマでは、なかなかの大活躍をしている八重姫ですが、地元には、頼朝との仲を裂かれて悲嘆にくれ、狩野川の淵に身を投げたという悲劇が語り継がれています。800年の時を超えて、八重姫がこのように注目されているのも、大河ドラマの波及効果のひとつだと思っております。

【伊豆の国市に関わる最近の出来事】

2月18日（金）	道の駅伊豆のへそ、リニューアル後来場者300万人達成を報告
2月20日（日）	鋸山反射炉講座「江川英龍が見た幕末」開催
2月22日（火）	市議会3月定例会
2月23日（水）	伊豆の国大河ドラマ館入館者2万人達成
2月23日（水）	文化財シンポジウム「上杉謙信逝く」開催
2月25日（金）	キヨウデンプレシジョン・GROOVE Xと包括連携協定締結
3月8日（火）	鋸山反射炉史跡指定100年
3月12日（土）	新し尿処理場「きよら江間」落成式
3月15日（火）	いづのくに北條PR大使委嘱式